

令和6年度

学士課程

社会人特別選抜

学 生 募 集 要 項



高知工科大学

KOCHI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

高知工科大学は「大学のあるべき姿を常に追求し、世界一流の大学を目指す」ことを目標として掲げています。この目標に賛同し、来るべき社会に活躍できる人材になるという強い意志と情熱を持ち、勉学意欲のある人を求めます。

高知工科大学には、システム工学群、理工学群、情報学群、経済・マネジメント学群、データ&イノベーション学群の5学群があります。各学群の教育の理念・目標を理解するとともに、それぞれの分野への高い関心と志望動機・目的意識を持ち、本学で学ぶための基礎学力を有していると認められる人の入学を希望しています。

●システム工学群

高知工科大学（学士課程全体）のアドミッション・ポリシーのもとに、システム工学群では、ものづくり一般に広く興味を持ち、それらを応用し、新しいシステム構築を切り開く意欲に溢れ、次のような資質を持つ人を求めます。

- ①論理的思考および柔軟な発想力
- ②基礎学力（数学・理科）
- ③協調性およびコミュニケーション能力
- ④国際コミュニケーション能力（英語）を高める意欲

さらに、大学院へ進学することで、ものづくり分野や新しいシステム構築をけん引するようなハイレベルなエンジニアを目指すことを推奨します。

本学群の入学試験について、上記の4つの資質を持ちあわせた人材を選抜するために、以下の入試を実施します。

4つの資質を持ちあわせながら、特に①と②に秀でた人を選抜するために「一般選抜」を実施します。「一般選抜」では、主に大学入学共通テストと理科・数学の個別学力試験の結果をもとに評価し、選抜します。

4つの資質が総合的に優れた人を選抜するために「学校推薦（一般区分）」、「総合型選抜」を実施します。学校推薦（一般区分）では、面接試験にて③、④を、口頭試問にて①、②を評価します。面接試験と口頭試問の結果に、提出書類の評価を加え、総合的に選抜します。総合型選抜では、面接試験にて③、④を、学群適性検査にて①、②を評価します。適性検査と面接試験の結果に、提出書類の評価を加え、総合的に人物を評価し、選抜を行います。

さらに、多様な人材を選抜するために「学校推薦（特待生区分）」、「社会人特別選抜入試」を実施します。

●理工学群

高知工科大学（学士課程全体）のアドミッション・ポリシーのもとに、理工学群では、自然科学について興味があり、探究心に溢れ、次のような資質を持つ人を求めます。

- ①自然科学全般を学ぶための十分な基礎学力
- ②学んだことを社会で活かすためのコミュニケーション力と語学力
- ③持続可能な社会の構築に尽力したいという意欲
- ④身に付けた広い分野の知識を融合させて社会に貢献したいという情熱

さらに、大学院へ進学することで、製品開発・商品開発や持続可能な社会の構築をけん引するような、先端的な科学技術に精通した人材を目指すことを推奨します。

本学群の入学試験について、上記の4つの求める資質を評価・選抜するために、以下の入試を実施します。

4つの資質を持ちあわせながら、特に①と②に秀でた人を選抜するために「一般選抜」を実施します。「一般選抜」では、主に、大学入学共通テストと理科・数学の個別学力試験の結果をもとに評価し、選抜します。

4つの資質を総合的に評価するために「学校推薦（一般区分）」、「総合型選抜」を実施します。学校推薦（一般区分）では、口頭試問にて①、②を、面接試験にて③、④を評価します。面接試験と口頭試問の結果に、提出書類の評価を加え、総合的に人物を評価し、選抜を行います。総合型選抜では、面接試験と提出書類にて②、③、④を、学群適性検査にて①を評価します。適性検査と面接試験の結果に、提出書類の評価を加え、総合的に人物を評価し、選抜を行います。

さらに、多様な人材を求めるために「学校推薦（特待生区分）」、「社会人特別選抜入試」を実施し、優れた人材を見出します。

●情報学群

高知工科大学（学士課程全体）のアドミッション・ポリシーのもとに、情報学群では、情報学に対する興味と明確で適切な目的意識を持ち、次のような資質を持つ人を求めます。

- ①広い興味を持ち、主体的に真理を求める積極性と探究心
- ②問題を正しく理解し、論理的に考察して、自分の考えを的確に伝えられる能力
- ③ねばり強く打ち込み問題を解決する力
- ④高等学校で学習する幅広い分野の基礎学力
- ⑤数学や理科の論理的な理解
- ⑥協調性が高く、専門領域でリーダーシップをとり活躍できる能力

さらに、大学院へ進学することで、AI・コンピュータ科学、サイバーリアリティ、脳情報・心理情報学の各分野をけん引するような高度な技術者を目指すことを推奨します。

本学群の入学試験では一般選抜に加え、多様な人材を求めるために総合型選抜を実施します。

「一般選抜」では大学入学共通テストによって③、④を評価し、理科・数学の個別学力試験によって②、③、⑤を評価して選抜します。「総合型選抜」では面接試験によって①、②、⑥を、学群適性検査によって②、③、⑤を、提出書類によって①、③、④、⑥を評価して選抜します。

さらに、「学校推薦（特待生区分）」、「社会人特別選抜入試」を実施し、優れた人材を見出します。

●経済・マネジメント学群

高知工科大学（学士課程全体）のアドミッション・ポリシーのもとに、経済・マネジメント学群では、社会や組織の課題とその解決に関心があり、次のような資質を持つ人を求めます。

- ①物事に主体的に取り組む積極性を持つ
- ②知的な能力を伸ばすことへの向上心がある
- ③経済学やマネジメント学を中心とした社会科学全般を学ぶために必要な基礎学力を身に付けている
- ④課題が提示されたとき、自身の知識と経験をもとに論理的に解決策を考えられる
- ⑤自分の考えを他者に対して明確に伝えられる
- ⑥学業あるいはスポーツにおける特定の分野に秀でた能力を持つ

上記の資質を持つ人を評価し選抜するために、本学群では以下の入学試験を実施します。

「一般選抜」では、大学入学共通テストと個別学力試験により、特に③を評価します。「学校推薦（一般区分）」では、提出書類により②と③を、面接試験により①と②と⑤を、面接試験中の思考力を問う質問により③と④と⑤を、特に評価します。「総合型選抜」では、提出書類により②と③と⑥を、面接試験により①と②と⑤を、学群適性検査または実技試験により⑥を、特に評価します。

さらに、多様な背景や経験を持つ人を求め、「学校推薦（特待生区分）」および「社会人特別選抜入試」を実施します。

●データ&イノベーション学群

高知工科大学（学士課程全体）のアドミッション・ポリシーのもとに、データ&イノベーション学群では、社会における課題解決や事業創造などに関心があり、これを次世代IT技術と多様な文理の学問を学ぶことで実現しようとする意欲があり、次のような資質を持つ人を求めます。

- ①困難に立ち向かう強い意志と積極性
- ②高等学校までに学ぶ広範な知恵と基礎学力
- ③論理的かつ柔軟な思考を持ち、文理を統合し得る資質
- ④協調性およびコミュニケーション能力を持ち、社会と対話する資質
- ⑤様々なデータからソリューションを創造し、社会にイノベーションをもたらす意欲

さらに、大学院へ進学することで、世界的に急速な広がりを見せるデジタルトランスフォーメーションをけん引するハイレベルなデータエンジニア、データサイエンティスト、ハイレベルマネージャーを目指すことを推奨します。

本学群の入学試験について、上記の5つの資質を持ちあわせた人材を選抜するために、以下の入試を実施します。

5つの資質を持ちあわせながら、特に②と③に秀でた人を選抜するために「一般選抜」を実施します。本試験では、主に大学入学共通テストと個別学力試験の結果をもとに評価し、選抜します。

5つの資質について総合的に優れた人を選抜するために「学校推薦（一般区分）」、「総合型選抜」を実施します。学校推薦（一般区分）では、面接試験にて①、④、⑤を、口頭試問にて②、③を評価します。面接試験と口頭試問の結果に、提出書類の評価を加え、総合的に選抜します。総合型選抜では、面接試験にて①、④、⑤を、学群適性検査にて②、③を特に評価します。適性検査と面接試験の結果に提出書類の評価を加え、総合的に人物を評価し、選抜を行います。

さらに、多様な人材を選抜するために「学校推薦（特待生区分）」、「社会人特別選抜入試」を実施します。

「人が育つ大学」として、学生が主体的・能動的に学び、成長していくことを重視した教育課程を編成します。

集中的受講による教育効果の向上と留学をはじめとする学外学修の促進を狙う「クォータ制」を基本としているほか、学生の自主性を尊重する「全科目選択制」、自学・自修を促す「専門科目の時間割上の集中配置」、「1年次からの専門科目履修」は、本学カリキュラム編成上の大きな特徴です。

また、「専攻・副専攻制」によって、専門分野に加え、関連する領域を理解する学際的な学びを促します。

● カリキュラムの構成

教育課程は、全学群に共通の「1 共通科目」と各学群が提供する「2 専門科目」で構成されています。

1 共通科目

「人文・社会科学等科目」と「自然科学等科目」は、社会人として必要な知識や基礎力を培うとともに、豊かな人間性と創造性の涵養を目指す科目群で、それぞれ「基礎科目」と「教養科目」に分類しています。

(1) 人文・社会科学等科目

①基礎科目

「英語科目」とキャリア形成支援系の「人材育成科目」で構成する科目群です。英語は、読む、書く、聞く、話すことができる学習とともに、活きた英語に触れる機会を提供します。人材育成科目では、入学時の導入教育から、自己管理能力・生涯学習力を高めるキャリア教育科目を体系的に配置します。

②教養科目

法律、歴史、文化・芸術分野のほか、英語以外の外国語科目等を提供します。

(2) 自然科学等科目

①基礎科目

「数学科目」と「情報処理科目」を提供します。数学は、習熟度に応じた段階的な学習プログラムにより、専門科目の理解に必要な数量的スキルを身に付けます。情報処理科目は、情報通信技術の基礎を理解するとともに、当該技術の活用や活用する際のモラルなどの情報リテラシーを身に付けます。

②教養科目

専門科目を学ぶうえで必要となる物理学、化学、生物学等の科目を配置します。

2 専門科目

「専門基礎科目」、「専門発展科目」、「専攻領域科目」に大別し、各学群・専攻において学位授与と専攻修了に必要な取得単位数を設定するとともに履修モデルを提示することによって体系的な学修を支援します。また、工学系の4つの学群については、「工学系共通科目」を配置します。

(1) 工学系共通科目

工学系の4つの学群については、技術者に求められる素養を育む科目を配置します。

(2) 専門基礎科目

それぞれの分野の根幹となる基礎的な科目を配置します。

(3) 専門発展科目

各自の興味や関心に応じたより深い探求心に応えられる応用的な科目を配置します。

(4) 専攻領域科目

より高度で先端的な科目や学士課程の集大成となる卒業論文に向けた科目を配置します。

● 教育の方法

- ・ 講義、実験、演習、フィールドワーク等を組み合わせた授業を提供します。
- ・ 英語科目、数学科目については、習熟度別の少人数クラスで授業を実施します。
- ・ 学生による授業評価を実施し、科目とカリキュラムの改善を図ります。

● 学修成果の評価

- ・ 成績は、試験のほか、レポート、発表等を総合的に勘案して評価します。
- ・ 科目毎の具体的な評価方法については、シラバスで公開します。
- ・ G P Aに基づく成績評価を実施します。

●システム工学群

大学全体の共通科目に加え、工学の基幹をなす機械工学、電気電子工学、建築土木工学に関する知識を横断的に学修できる専門科目を提供します。

●カリキュラムの構成

- (1) 工学系共通科目：工学全般の基礎理論・基礎概念を深く理解するとともに俯瞰的な視点を獲得する科目を配置しています。
- (2) 専門基礎科目：技術者に広く求められる物理や数学科目のほか、各専攻に共通的な基礎科目、専攻での学修の基礎となる科目を配置しています。
- (3) 専門発展科目：専攻分野の学びにおいて根幹をなす科目群を配置しています。
- (4) 専攻領域科目：専攻領域をより深く学ぶための科目群と卒業研究によって構成されています。

●特色

専攻に属さない1年次に分野共通の基礎科目を配置し、機械系、電子系、建築土木系の基礎力を広く身に付けたいうえで、各専攻の専門分野を学んでいきます。

●専攻

「知能機械工学」、「航空宇宙工学」、「エネルギー工学」、「電子・光工学」、「建築・都市デザイン」の5つの専攻に、それぞれ履修モデルと修了要件を設定しています。

▼知能機械工学専攻

- ・機械工学の基礎となる4つの力学と制御工学をしっかりと身に付け、その応用力を養います。
- ・コンピュータの応用やメカトロニクス教育を重視します。
- ・実験や設計科目を履修することによって、ものづくりを実践的に行うための能力を身に付けます。

▼航空宇宙工学専攻

- ・航空宇宙工学の基礎として学んだ物理や数学を専門の分野で応用する力を養います。
- ・極限環境下で使用される機器などにも対応できる高度な設計技術を修得します。
- ・航空機や宇宙機を設計する際に要求されるシステムを統合する能力を身に付けます。

▼エネルギー工学専攻

- ・エネルギー工学の基礎となる機械工学と電気・電子工学をしっかりと身に付け、その応用力を養います。
- ・エネルギー工学の3要素である資源、輸送・貯蓄、利用・変換を横断的に学びます。
- ・総合的な見地よりエネルギーシステムをマネジメントできる能力を身に付けます。

▼電子・光工学専攻

- ・電子・光工学の基礎となる電磁気学と電気・電子回路工学をしっかりと身に付け、その応用力を養います。
- ・情報通信、情報処理、集積回路および電子・光物性に関する教育を重視します。
- ・実験・実習・研究を通じて、ものづくりとプログラミング技術を修得するとともに、電子・光材料やデバイスの専門性を高めます。

▼建築・都市デザイン専攻

- ・建築学、土木工学、都市工学に関する基礎を身に付け、その応用力を養います。
- ・意匠や構造などの設計演習や建設マネジメントの学習を通じて、ソフト・ハード両面を実践的に学びます。
- ・建築土木、都市を含む包括的な環境としての社会基盤・国土を支えるシステムをデザインできる能力を身に付けます。

●理工学群

大学全体の共通科目に加え、物理学、化学、生命科学の3分野に関する幅広い知識を身に付けることを目的とした、専門科目を提供します。

●カリキュラムの構成

- (1) 工学系共通科目：工学全般の基礎理論・基礎概念を深く理解するとともに俯瞰的な視点を獲得する科目を配置しています。
- (2) 専門基礎科目：物理学、化学、生物学などの自然科学的素養を育む基礎科学系の科目を配置しています。
- (3) 専門発展科目：専門分野を学ぶうえで重要となる基幹的な科目を配置しています。
- (4) 専攻領域科目：先端的な学際領域の科目と卒業研究によって構成されています。

●特色

- ・自然科学全般を基礎から応用まで学ぶことができるカリキュラムを提供しています。
- ・直接観察やコンピュータを用いた多くの実験科目を提供しています。

●専攻

「応用物理」、「機能化学」、「生命情報」の3つの専攻に、それぞれ履修モデルと修了要件を設定しています。

▼応用物理専攻

- ・材料科学、シミュレーション物理などの応用物理分野に関する知識を修得します。
- ・物理・材料実験により、応用物理分野に関する基本的実験・測定・観察・シミュレーション技術とデータ解析法を修得します。
- ・卒業研究を通じて、応用物理分野の最先端研究に資する実践的な研究力を身に付けます。

▼機能化学専攻

- ・機能性物質の合成法や性質を理解するための基礎となる分析化学、無機化学、有機化学、物理化学およびそれらの複合的・発展的な化学分野に関する知識を体系的に学びます。
- ・化学実験・化学演習により、基本的な実験操作や物質の構造・機能を評価する手法を修得します。
- ・卒業研究を通じて、機能化学分野の最先端研究に資する実践的な研究力を身に付けます。

▼生命情報専攻

- ・多様な生命現象で機能する生命情報のしくみを理解し活用するために必要となる生物学基礎知識を幅広く体系的に学びます。
- ・生物実験や演習により、生命科学の発展的な研究開発の基礎となる基本的な実験技術を修得します。
- ・卒業研究を通じて、生命情報分野の最先端研究に資する実践的な研究力を身に付けます。

●情報学群

大学全体の共通科目に加え、情報学に関する基礎から最先端応用までを体系的に学修できる専門科目を提供します。

●カリキュラムの構成

- (1) 工学系共通科目：工学全般の基礎理論・基礎概念を深く理解するとともに俯瞰的な視点を獲得する科目を配置しています。
- (2) 専門基礎科目：専門分野の理解に必要な基礎力を育む科目群を配置しています。
- (3) 専門発展科目：3つの専門分野についての中心的な科目を配置しています。
- (4) 専攻領域科目：実験・プロジェクト研究により専門分野の深い理解と実践力を培います。

●特色

- ・情報学の各分野を幅広くカバーした科目群を用意しています。
- ・知識を応用する力を養うため、多彩な実験や演習を組み入れています。
- ・専門分野を深く知るために履修の順番をわかりやすく示したブレレキジット表を作成し、誰でも段階を追って学修を進められるようにしています。

●専攻

「AI・コンピュータ科学」、「サイバーリアリティ」、「脳情報・心理情報学」の3つの専攻に、それぞれ履修モデルと修了要件を設定しています。

▼AI・コンピュータ科学専攻

- ・ハードウェアとソフトウェアの両面への深い理解に基づき、コンピュータの新たな可能性を拓いていけるよう、AIとコンピュータ科学に関する教育を重視します。
- ・計算機アーキテクチャ、プログラミング言語、データベース、AIなどの知識を修得します。
- ・実験・研究により、機械学習応用やプログラミング技術、データ解析手法や情報通信ネットワーク技術の基礎を修得します。

▼サイバーリアリティ専攻

- ・VRやサイバーフィジカル空間を通じた、人々や情報システムとの間の安全で良好な関係を構築できるよう、VRメディアやサイバー空間構成技術に関する教育を重視します。
- ・サイバーメディア、人間と情報システムとの協調、情報通信、情報セキュリティなどの知識を修得します。
- ・実験・研究により、VR技術やプログラミング技術、データ解析手法や情報通信ネットワーク技術の基礎を修得します。

▼脳情報・心理情報学専攻

- ・人間の優れた知的・認知能力を理解し、人に優しい情報処理技術を開発できるよう、人間の知覚、心理、脳に関する教育を重視します。
- ・知覚情報処理、認知心理学、認知神経科学、記憶と学習、ニューロメカニクスなどの知識を修得します。
- ・実験・研究により、脳活動・人間応答の計測技術やプログラミング技術、データ解析手法や情報通信ネットワーク技術の基礎を修得します。

●経済・マネジメント学群

大学全体の共通科目に加え、経済学、マネジメント学を中心に据えつつ、社会における諸課題を解決するための社会生態分野や経済学の理解に必要な数理分野および工学の基礎を学際的に学ぶことができる専門科目を提供します。

●カリキュラムの構成

- (1) 専門基礎科目：経済学、マネジメント学に関する概論系の科目と数学、セミナーによって構成される科目群を配置しています。
- (2) 専門発展科目：専門領域の理解に必要な基礎的理論と実践を学ぶ科目群を配置しています。
- (3) 専攻領域科目：講義で専門知識を深めるとともに、セミナーやプロジェクト研究によって実践力を養います。

●特色

- ・2年次前期までにすべての系・専攻に共通する基礎力を身に付けたうえで、2年次後期より「経済学」「マネジメント学」のいずれかの学位取得を目指して各専門分野を学んでいきます。
- ・セミナー形式による少人数教育を実施しています。
- ・実践的な課題設定による討論形式の授業を取り入れています。
- ・国際社会で通用する力を身に付けるため、英語による専門科目を提供しています。

●専攻

2年次後期に、経済学の学位取得を目指す「経済系」とマネジメント学の学位取得を目指す「マネジメント系」の2つの系から1つを選択します。3年次には次の7つの専攻よりいずれか1つを選択し、各研究室に所属してプロジェクト研究に取り組みます。

- ・「経済系」の知識に立脚した「人間行動」、「経済政策」、「数理経済マネジメント」
- ・「マネジメント系」の知識に立脚した「企業・起業マネジメント」「スポーツマネジメント」
- ・「経済系」「マネジメント系」それぞれの知識に立脚した「国際経済マネジメント」「地域・行政システム」

また、専攻と関連する領域を副専攻として選択することも可能です。各専攻にはそれぞれ履修モデルと修了要件を設定します。

【経済系】

▼人間行動専攻

- ・心理学・生理学・神経科学の融合系科目により、人間の心の特性およびその神経基盤について学びます。
- ・実験経済学など実験系の科目を重視します。

▼経済政策専攻

- ・産業組織論やファイナンス論などの経済系の学術分野を学び、市場メカニズムに対する理解を深めます。
- ・政治経済学や高知経済分析などの政策系の学術分野を学び、望ましい政策を見つけるとともにその実現可能性の問題を考えます。

▼数理経済マネジメント専攻

- ・金融論、計量経済学、プログラミング、データ分析の手法等を学びます。
- ・社会における様々な現象を、数理モデルを通じて理解する方法を学びます。

【マネジメント系】

▼企業・起業マネジメント専攻

- ・マネジメント学の中核をなす経営戦略や組織論、財務会計、マーケティング等を学びます。
- ・企業の実態分析、価値評価の方法を体系的に習得するとともに、起業に必要な知識およびスキルを身につけて実践的なマネジメント能力を養います。

▼スポーツマネジメント専攻

- ・スポーツ経営学、スポーツ社会学、スポーツマーケティング等、スポーツマネジメントの専門知識を学びます。
- ・実際のスポーツ分野に携わる人物と触れ合い、スポーツ組織の経営に関する理解を深めることで、スポーツビジネスの分野で求められるマネジメントスキルを身に付けます。

【経済系】【マネジメント系】共通

▼国際経済マネジメント専攻

- ・海外での研修、インターンシップ、留学などを通じて経済とマネジメントに資する国際経験を積むことを推奨します。
- ・英語で提供されている経済学とマネジメント学の専門科目の履修やグループ演習等により、専門的知識とスキル、および、グローバルコミュニケーション能力を養います。

▼地域・行政システム専攻

- ・地域経営に求められる経営戦略論、マーケティング論、産業振興論や制度設計等の知見を体系的に学びます。
- ・地域・行政経営を俯瞰的に捉えてシステム創造およびマネジメントするための専門性を活かした地域活性化に取り組みます。

●データ&イノベーション学群

大学全体の共通科目を配置するとともに、専門科目として、データ&イノベーション学に関する知識を身に付けることを目的に、AI・データサイエンスに関する基礎から応用、ネットワーク等の情報技術、経済学・心理学等の人と社会の理解に必要な基盤概念から経営・財務等のマネジメントに至る幅広い分野の基盤知識を得るための体系的な教育プログラムを提供します。

●カリキュラムの構成

- (1) 工学系共通科目
工学全般の基礎理論・基礎概念を深く理解するとともに俯瞰的な視点を獲得する科目を配置しています。
- (2) 専門基礎科目
専門分野の理解に必要な基礎力を育む科目群を配置しています。
- (3) 専門発展科目
専攻分野の学びにおいて根幹をなす科目群を配置しています。
- (4) 専攻領域科目
専攻領域をより深く学ぶための科目群と卒業研究によって構成されています。

●特色

- ・次世代技術リテラシーを有するだけでなく、工学基礎に関する十分な素養と社会実装に必要な基礎力を網羅的に学んでいきます。
- ・行政機関・民間企業のニーズに即して実際の現場・課題・データを用いた課題解決型学習を重視します。

●専攻

「AI・データサイエンス専攻」、「デジタルイノベーション専攻」の2つの専攻に、それぞれ履修モデルと修了要件を設定しています。

▼AI・データサイエンス専攻

- ・AI・データサイエンスの背景にある原理を理解したうえで活用できる力を養います。
- ・多変量解析や機械学習に関する学習に加えて、情報・工学技術の活用に必要な基礎教育を重視します。
- ・産官学連携の実践活動により、システム創成を通して価値創造・ソリューション創出する能力を高めます。

▼デジタルイノベーション専攻

- ・デジタルイノベーションを行ううえで必要な、デジタル技術と諸学問を統合してデザインする力を養います。
- ・次世代技術のエッセンスを理解する学習に加えて、経営的視点の修得に必要な基礎教育を重視します。
- ・産官学連携の実践活動により、社会を多視点で分析し価値創造・ソリューション創出する能力を高めます。

ディプロマ・ポリシー ～卒業認定・学位授与の方針～

高知工科大学は、教育の基本理念として「来るべき社会に活躍できる人材の育成」を掲げ、広い教養を備え深い専門知識と優れた人間性を持つ想像力豊かな人材を養成します。その実現のために、以下のような能力を身に付け、学則に定める卒業要件を満たした者に対して学位を授与します。

- 1 自発性・創造性
自ら問題を発見・提起し、目標を定め、そこに到達する技法を見出し解決することができる自発性と創造性
- 2 システム的視点
分野を超えた知識や視野を持ち、物事をトータルなシステムとして捉え最適化することができる能力
- 3 国際的思考とコミュニケーション能力
グローバル化が進む社会の中で、自らの考えを発信するために必要とされる国際的な視野とコミュニケーション能力
- 4 専門能力
社会の潜在的な要求を察知し、それを実現するための方策を見出すことができるなど、社会で十分に活躍できる高度な専門能力や技能と視野

●システム工学群

システム工学群の設定した科目の学修を通じて、広い視野を持って社会に貢献できる人材を養成することを目的とし、以下の知識および能力を身に付けた者に対し、学士（工学）の学位を授与します。

- 1 システム構築の基盤となる機械、電子、建築土木の工学分野に共通する基礎知識
- 2 機械、電子、建築土木いずれかの分野における高度な専門知識
- 3 日々進歩する技術に柔軟に対応できる能力

●理工学群

理工学群の設定した科目の学修を通じて、科学技術、自然環境の有機的なつながりを理解できる広い視野と倫理を持って活躍する人材を養成することを目的とし、以下の知識および能力を身に付けた者に対し、学士（理工学）の学位を授与します。

- 1 基礎的な理工学の知識を有機的に連結して活用できる能力
- 2 物理学、化学、生命科学のいずれかの分野における高度な専門知識
- 3 製品や生産プロセスの社会・自然環境に対する影響を予測し評価できる価値判断力

●情報学群

情報学群の設定した科目の学修を通じて、広く次世代の情報技術を担える人材を養成することを目的とし、以下の知識および能力を身に付けた者に対し、学士（情報工学）の学位を授与します。

- 1 情報工学の基本的な知識および実践的な情報処理技術
- 2 AI・コンピュータ科学、サイバーリアリティ、脳情報・心理情報学のいずれかの分野に関する高度な専門知識および技術
- 3 学んだ知識を活用し、情報社会の課題を自ら発見し解決する能力

●経済・マネジメント学群

経済・マネジメント学群の設定した科目の学修を通じて、経済学分野、経営学分野および関連分野の知識とそれらを活用する知恵を兼ね備え、企業や行政、その他様々な組織のマネジメントにおいて活躍できる人材や自ら起業する気概と能力を有する人材を養成することを目的とし、以下のとおり修得する知識や能力に応じて、学士（経済学）または学士（マネジメント学）の学位を授与します。

・学士（経済学）

社会経済の諸課題を認識し、経済政策や地域政策など経済学が担う社会経済のシステム設計を行う人材に求められる、次の知識および能力を身に付けた者に対し、学士（経済学）の学位を授与します。

- 1 経済学分野、経営学分野および関連分野の基礎的な専門知識
- 2 経済学の理論を理解し、実践的に応用できる能力

・学士（マネジメント学）

企業経営、起業経営、行政経営などの各分野において、市場の分析から経営企画・構築・運営が総合的にでき、マネジメントのプロフェッショナルに求められる、次の知識および能力を身に付けた者に対し、学士（マネジメント学）の学位を授与します。

- 1 経済学分野、経営学分野および関連分野の基礎的な専門知識
- 2 経営に必要な能力を持ち、実践的な経営企画ができる能力

●データ&イノベーション学群

データ&イノベーション学群の設定した科目の学修を通じて、工学的視点と社会に対する俯瞰的な視野の両方を兼ね備えた人材を養成することを目的とし、以下の知識および能力を身に付けた者に対し、学士（データ&イノベーション学）の学位を授与します。

- 1 AI・データサイエンス、工学全般、ネットワーク等の情報技術および経済学・心理学等の人と社会の理解に必要な基盤概念に関する基礎知識
- 2 AI・データサイエンスおよびデジタルイノベーションの分野に関する高度な専門知識
- 3 幅広い知識を統合して、価値創造やソリューション創出を行う能力

社会人特別選抜の評価・選抜の観点

●システム工学群

社会人としての経験に立脚したものづくりに対する興味、知識獲得への意欲が十分であり、システム工学群が求める4つの資質を併せ持つ人を提出書類と面接によって選抜します。

●理工学群

理工学群が求める資質を併せ持ち、社会人経験を踏まえた明確な志望動機、勉学意欲、基礎学力および学びたい分野への適性を有すると認められる人を提出書類と面接によって選抜します。

●情報学群

豊富な社会人経験に基づいて、問題の正しい理解、論理的な考察、自分の考えの的確な表明をする能力を有することが求められます。また、明確で適切な目的意識を持つこと、高校卒業程度の基礎学力を有することが求められます。特に数学、理科と英語の学力が求められます。これらの観点から、提出書類と面接によって選抜します。

●経済・マネジメント学群

以下の2点を特に重んじて、提出書類と面接試験により評価し選抜します。

- ・実社会での経験に基づく明確な問題意識を持つ
- ・経験から学んだことを他の学生たちにも伝えることができる

●データ&イノベーション学群

社会人としての経験に立脚した情報学・経済学・経営学に対する興味、知識獲得への意欲が十分であり、データ&イノベーション学群が求める5つの資質を併せ持つ人を提出書類と面接によって選抜します。

令和6年度 社会人特別選抜の入試概要

1 学群・募集人員

学 群	募集人員
システム工学群	若干名
理工学群	若干名
情報学群	若干名
経済・マネジメント学群	若干名
データ&イノベーション学群	若干名

※可否は志望学群ごとに判定します。

- ▶「システム工学群」には、知能機械工学専攻、航空宇宙工学専攻、エネルギー工学専攻、電子・光工学専攻、建築・都市デザイン専攻の5専攻があります。
- ▶「理工学群」には、応用物理専攻、機能化学専攻、生命情報専攻の3専攻があります。
- ▶「情報学群」には、AI・コンピュータ科学専攻、サイバーリアリティ専攻、脳情報・心理情報学専攻の3専攻があります。
- ▶「経済・マネジメント学群」には、人間行動専攻、経政政策専攻、数理経済マネジメント専攻、企業・起業マネジメント専攻、スポーツマネジメント専攻、国際経済マネジメント専攻、地域・行政システム専攻の7専攻があります。
- ▶「データ&イノベーション学群」には、AI・データサイエンス専攻、デジタルイノベーション専攻の2専攻があります。

2 出願資格

次のいずれかに該当し、令和5年4月1日現在において満23歳以上の者で、社会人としての活動や経験を有し、大学において学ぶ意欲と問題意識および具体的な学習計画を持つ者

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条（第6号を除く）の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※上記(3)の出願資格で出願する者は令和5年4月21日（金）までに入試課に相談してください。

3 日程

出願期間	第1次選考 書類審査	第1次選考 結果通知	第2次選考 面接	合格発表日	入学手続期間
令和5年5月26日（金） ～ 令和5年6月2日（金）	6月上旬	令和5年6月8日（木）	令和5年6月25日（日）	令和5年6月29日（木）	令和5年6月30日（金） ～ 令和5年7月7日（金）

▶出願及び入学手続期間は締切日17：00必着です。出願手続および出願書類等については、10ページ、合格発表・入学手続については、11～13ページを参照してください。

4 選抜方法

〈第1次選考〉

提出書類（自己推薦書、履歴書、業績書および出身学校が作成した調査書）による判定。

※調査書を提出できない場合は、卒業（修了）証明書および成績証明書によって調査書に代えることができます。

〈第2次選考〉

第1次選考合格者を対象とし、面接（基礎学力を問う口頭試問を含む）、提出書類による総合判定。

5 入学検定料

30,000円

入学検定料の納入方法については、本学Webサイトの「受験生向け情報サイト」→「入試情報」→「募集要項」→「インターネット出願利用ガイド」よりご確認ください。

6 試験時間

試験科目	入室時間	受験上の注意	試験時間
面 接	9：00まで	9：00～9：20	9：20～18：00

▶各受験生の試験開始時刻は試験当日に発表します。受験上の注意については、11ページを参照してください。

7 試験会場

高知工科大学香美キャンパス	高知県香美市土佐山田町宮ノ口185
---------------	-------------------

▶16ページの「試験会場略図」を参照してください。

出願手続

1 出願書類

入 学 志 願 票 ・ 写 真 票	インターネット出願サイトより入学検定料支払手続完了後にダウンロードできます。 A4サイズで両面印刷（カラー）してください。 受験票の印刷等については、11ページを必ずご確認ください。
調 査 書	出身学校長が作成し、 厳封したもの を提出してください。 ※調査書を提出できない場合 卒業（修了）証明書および成績証明書（いずれも 厳封したもの ）を提出してください。 その他不明な点は入試課に相談してください。
自 己 推 薦 書 (本学所定の様式)	本学Webサイト「受験生向け情報サイト」→「入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、志願者本人が 自筆で記入したもの を提出してください。
履 歴 書 (本学所定の様式)	本学Webサイト「受験生向け情報サイト」→「入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、志願者本人が 自筆で記入したもの を提出してください。
業 績 書 (本学所定の様式)	本学Webサイト「受験生向け情報サイト」→「入試情報」→「募集要項」より様式をダウンロードし、A4サイズで印刷後、志願者本人が 自筆で記入したもの を提出してください。 業績書に記載した内容を証明する書類の写しも添付してください。

※各種証明書類について、改氏名があった場合は、新・旧両方の氏名が確認できる資料として戸籍謄(抄)本、住民票、運転免許証等の写しを提出してください。

2 出願書類の提出

- (1) **入学検定料 30,000円** ※出願受付後は一度納入された入学検定料は返還しません。
- (2) **提出先 〒782-8502 高知県香美市土佐山田町宮ノ口185 高知工科大学 入試課 宛**
- (3) **出願書類は書留速達で発送してください。**出願期間の**締切日17:00必着**です。
- (4) 出願用封筒は、市販の封筒（角形2号）を使用し、前面に所定の**封筒貼付用宛名シート**を貼り付けてください。（封筒貼付用宛名シートは、インターネット出願サイトより入学検定料支払手続完了後にダウンロードできます。）

【インターネット出願について】

インターネット出願に関する詳細は「インターネット出願利用ガイド」をご確認ください。

■掲載場所

本学Webサイト「受験生向け情報サイト」→「入試情報」→「募集要項」

URL : https://www.kochi-tech.ac.jp/entrance_info/admission/bachelors/requirement.html



3 出願書類提出上の注意

- (1) **出願書類の不足、誤記入等の場合、受け付けることができません**ので注意してください。
- (2) 一度提出された書類は返還しません。
- (3) 出願後の志望学群の変更は認めません。
- (4) 出願時に登録している住所に変更が生じた場合は、直ちに入試課（TEL：0887-57-2222）へ申し出るとともに郵便局へ転居届を提出してください。合格通知、入学手続書類等はすべて出願時に登録された住所に送付します。

4 受験および修学上の配慮を必要とする場合の事前相談

障がいや有する等、受験上の配慮および修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願に先立ち、出願開始日の2週間前までに入試課（TEL：0887-57-2222）に相談してください。

なお、補聴器、松葉杖、車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

受験上の注意

1 受験票

- (1) 受験票は、インターネット出願サイトより入学検定料支払手続完了後にダウンロードできます。試験当日までに印刷（カラー）し、大切に保管してください。また、**試験当日は、受験票を必ず持参してください。**
- (2) 試験当日に受験票を忘れたり紛失した場合は、係員へ申し出て、指示を受けてください。

2 試験室への入退室

- (1) 入室時間までに面接控室へ入室してください。
- (2) 面接控室へ入室したら、指定された席に着席し、受験票は机上の受験番号シールの手前に置いてください。
- (3) 入室時間に遅刻した者は受験できません。
ただし、自然災害等不可抗力による遅刻の場合は、特別措置を講じることがありますので、ただちに係員へ申し出てください。
- (4) 係員に用件のある場合は、黙って挙手してください。
- (5) 試験開始後、試験時間が終了するまで退室できません。
- (6) 「面接」では、各自の試験が終了すれば退室となります。

3 受験上の注意

- (1) 試験会場においては、係員および試験監督者の指示に従ってください。
- (2) 携帯電話等(ウェアラブル端末含む)は面接控室に入る前に、アラーム機能等を解除し、電源を切り、身につけずにカバン等に入れてください。また、これらは、時計として使用できません。時計が必要な者は通信機能のない腕時計を持参してください。
- (3) 時計のアラーム機能は必ず解除してください。
- (4) 必要のないものは、カバン等に入れて係員の指示する場所に置いてください。
- (5) 不正行為があると認められた受験者に対しては、直ちに受験を停止させ退出を命じます。

4 その他の注意

- (1) 試験会場の場所、交通所要時間等を試験日前日までに確認しておいてください。ただし、試験当日まで試験室内に立ち入ることはできません。試験日前日の午後からキャンパス内に試験室等の配置図を掲示します。
- (2) 宿泊が必要な者は受験者各自で手配してください。なお、本学売店アクセス（TEL：0887-57-0229）で宿泊施設の情報を提供しています。
- (3) 試験当日に昼食の準備が必要な場合は、出願時に登録しているメールアドレスに通知します。
- (4) 面接の待ち時間が長くなる可能性があります。書籍等、適宜ご準備ください。

合格発表

(1) 第1次選考結果

令和5年6月8日（木）発送

志願者全員に書留速達郵便で結果を通知します。

第1次選考結果は、郵送による結果通知とし、Webサイトへの掲示はありません。

(2) 第2次選考結果（最終合格者）

令和5年6月29日（木）午前10時

合格者には、合格通知書とともに入学料振込依頼書、および入学手続書類等を本人宛（出願時に登録している住所）に書留速達で郵送します。

下記へ最終合格者の受験番号を掲示します。

本学 Webサイト「<https://www.kochi-tech.ac.jp/>」の「受験生向け情報サイト」→「入試情報」→「合格発表」

注1) 第1次選考結果、第2次選考結果ともに電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

注2) 合格者の受験番号について、学内掲示は行っておりません。



入学手続

- (1) 入学手続には、「入学料および学生教育研究災害傷害保険料等の納入」と「入学手続書類の提出」があります。下記の入学手続期間内に入学料および学生教育研究災害傷害保険料等を納入し、入学手続書類を提出してください。
- (2) 下記入学手続期間内に入学手続を行わなかった者は、入学を辞退したものとみなします。

1 入学手続期間

令和 5 年 6 月 30 日（金）～ 令和 5 年 7 月 7 日（金） 締切日 17:00 必着

2 入学料の納入

高知県内在住者 ※ 1	150,000円
高知県外在住者 ※ 2	300,000円

- ※ 1 入学を許可された学生または当該学生の配偶者もしくは一親等の親族で、入学手続完了日の 6 ヶ月前から引き続き高知県内に住所を有することが住民票または住民票と戸籍謄本等で確認できる者（入学手続時に証明書類を提出していただきます。）
- ※ 2 高知県内在住者以外の者

- (1) 合格者には、入学料振込依頼書を合格通知書とともに送付しますので、入学手続期間内に納入してください。納入方法はその際に通知します。
- (2) 一度納入された入学料は返還しません。
- (3) 入学料について改訂が行われた場合には、改訂時から新入学料が適用されます。

3 保険料の納入

学生教育研究災害傷害保険料	3,300円	計 4,660円	(令和 6 年度入学生適用)
学研災付帯賠償責任保険料	1,360円		

- (1) 入学手続期間内に学生教育研究災害傷害保険料・学研災付帯賠償責任保険料を納入してください。
- (2) 教育研究活動中の不慮の事故（課外活動を含む）および対人・対物事故（インターンシップ、教育実習を含む）に対する補償のため、全ての入学生に加入していただきます。保険料は入学時のみの納入で、保険対象期間は 4 年間です。
- (3) 保険料の振込みは、入学料の振込みと同時に行っていただきます。
- (4) 詳細については、合格通知書とともに送付します。

4 入学手続書類の提出

合格者には、入学手続書類を合格通知とともに送付します。
入学手続期間内に入学手続書類を提出してください。
手続方法はその際に通知しますが、事前に次のものを用意しておいてください。

写真 1 枚 (学生証用)	- 提出前 3 ヶ月以内に撮影したもの（カラー・白黒どちらでも可） - サイズは縦 4 cm×横 3 cm - 正面、上半身、無帽、背景のないもの - 裏に受験番号、合格学群、氏名を記入したもの
「高知県内在住者」資格を有することを証明する書類 ※「高知県内在住者」の入学料（150,000円）を納入する者のみ	【「高知県内在住者」資格】 下記①～③のいずれかの者が、入学手続完了日の 6 ヶ月前から引き続き高知県内に住所を有することを、住民票等で確認できること。住民票のみで確認できない場合は、住民票と戸籍謄本等で確認できること。 ①合格者本人 ②合格者の配偶者 ③合格者の一親等の親族 【提出書類】 (1) 合格者本人が高知県内在住者である場合 合格者本人の住民票 (2) 合格者の配偶者または一親等の親族が高知県内在住者である場合 以下 2 点の書類 (a) 高知県内在住者である合格者の配偶者または一親等の親族の住民票 (b) 戸籍謄本等、高知県内在住者である合格者の配偶者または一親等の親族と合格者本人の関係が確認できるもの ※戸籍が途中で改製（編成）されている場合は、それ以前の戸籍が必要となる場合があります。
在留カードの写し（両面）	日本国籍を有しない者のみ必要です。

5 その他納入金

校友会費 50,000円（納入時期：原則入学時）

入学生には、入学手続きとともに、高知工科大学校友会へのご入会をお願いしております。校友会は、「学生生活」「課外活動」「入学・卒業」「会員交流」「地域交流」「大学連携」の活動目標を掲げ、入学後から卒業後まで一貫して「工科大生」として会員の皆様に様々な支援を行っている組織です。校友会の活動については、「高知工科大学校友会」のホームページをご覧ください。

詳細については、合格通知書とともに送付します。

6 その他

- (1) 入学手続き完了後であっても、入学資格に該当しない事由が生じた場合には入学できないことがあります。
- (2) 入学手続き後、特別の事情により入学を辞退する者は、事前に入試課（TEL：0887-57-2222）に連絡のうえ、入学辞退届を令和6年3月31日（日）17：00までに入試課へ提出してください。
- (3) 上記期限までに入学辞退届を提出した者については、入学金を除いた納入金を返還します。

授業料

	納入期限	金 額	年 額
1 期分授業料	令和6年4月25日まで	267,900円	535,800円
2 期分授業料	令和6年10月25日まで	267,900円	

- (1) 1 期分授業料の納入については、入学後に振込依頼書を別途送付いたします。
- (2) 2 期分授業料より、入学生が指定する金融機関の預金口座から口座振替となります。
詳細については、後日お知らせいたします。
- (3) 授業料について改訂が行われた場合には、改訂時から新授業料が適用されます。

学生生活について

1 奨学金制度

■ 日本学生支援機構（JASSO）貸与奨学金

独立行政法人日本学生支援機構は、経済的理由で就学が困難な優れた学生に対し、学資の貸与を行っています。貸与型奨学金は卒業後に返還が必要となります。

第一種奨学金（無利子）

詳細は、日本学生支援機構のホームページ（以下のURL）をご参照ください。

・ 貸与月額

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_1shu/kingaku/2018ikou.html

第二種奨学金（有利子）

詳細は、日本学生支援機構のホームページ（以下のURL）をご参照ください。

・ 貸与月額

https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/taiyo_2shu/kingaku.html

申請

日本学生支援機構の奨学金の申請には、高校3年生で申請する「高校予約採用」と、進学後に申請する「在学採用」があります。

■ 民間育英団体および地方公共団体が実施する奨学金

地方公共団体や民間育英団体が実施している奨学金制度（給付、貸与、返還支援制度等）について、随時学生に向けて本学Webサイト等でご案内しております。

2 授業料免除制度

■高知工科大学授業料免除制度

本学は、「高知工科大学授業料の免除に関する規程」に基づき、経済的理由により授業料の納付が著しく困難であり、かつ学業成績優秀と認められる学生に対し、申請により当年度1年間の授業料の全額または半額を免除します。

申請時期および要件

定期申請と定期外申請の2通りがあります。

1) 定期申請

毎年6月頃募集を開始します。

2) 定期外申請

特別な事由がある場合は、定期申請の提出期限を過ぎても申請することができます。

- ・ 父母又は父母がいない場合は主たる家計の支持者が死亡した場合
- ・ 学生又は父母若しくは父母がいない場合は主たる家計の支持者が火事や風水災等の災害を受けた場合
- ・ その他、学長が特別な事情と認めた場合

審査基準

学業基準と家計基準により審査します。

※詳細については学生支援課（TEL：0887-53-1118）までお問合せください。

3 アパート・マンション等の紹介

アパート・マンション等の斡旋は行っておりませんが、売店「アクセス」（TEL：0887-57-0229）で、近隣物件を取り扱う不動産業者等の情報を提供しています。

4 主な学びのキャンパスについて

令和6年度入学生の本学入学後の主な学びのキャンパスは以下のとおり予定しています。試験会場と異なる場合もありますので、ご注意ください。

各キャンパスの詳細は本学HP(<https://www.kochi-tech.ac.jp/about/campus/introduce/>)をご確認ください。

学群	1年次	2年次	3年次	4年次
システム工学群 理工学群 情報学群	香美	香美	香美	香美
経済・マネジメント学群	香美	永国寺	永国寺	永国寺
データ&イノベーション学群	香美	香美	永国寺（予定）	永国寺

(1) 出願者について、入学までに本学が取得した個人情報は、以下の目的に利用いたします。

- ①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格発表、入学手続業務
- ②入学に際してのご案内
- ③個人情報を含まない形での統計のための集計・分析

なお、出願書類に不備等があった場合に、その訂正・補完を迅速に行っていただくため、本学に出願がなされていること、および出願書類に不備等があることを、ご家族に通知する場合があります。

また、上記①～③の目的での利用に際し、業務委託を行うことがあり、委託業者に対して委託の範囲内で、記載された個人情報の全部または一部を提供することがありますが、この場合においても、上記以外の目的で、記載された個人情報を利用することはございません。

(2) 入学者に関しては、上記に加え、以下に基づき個人情報を取り扱います。なお、本学校友会との間で、個人情報の共同利用を行います。

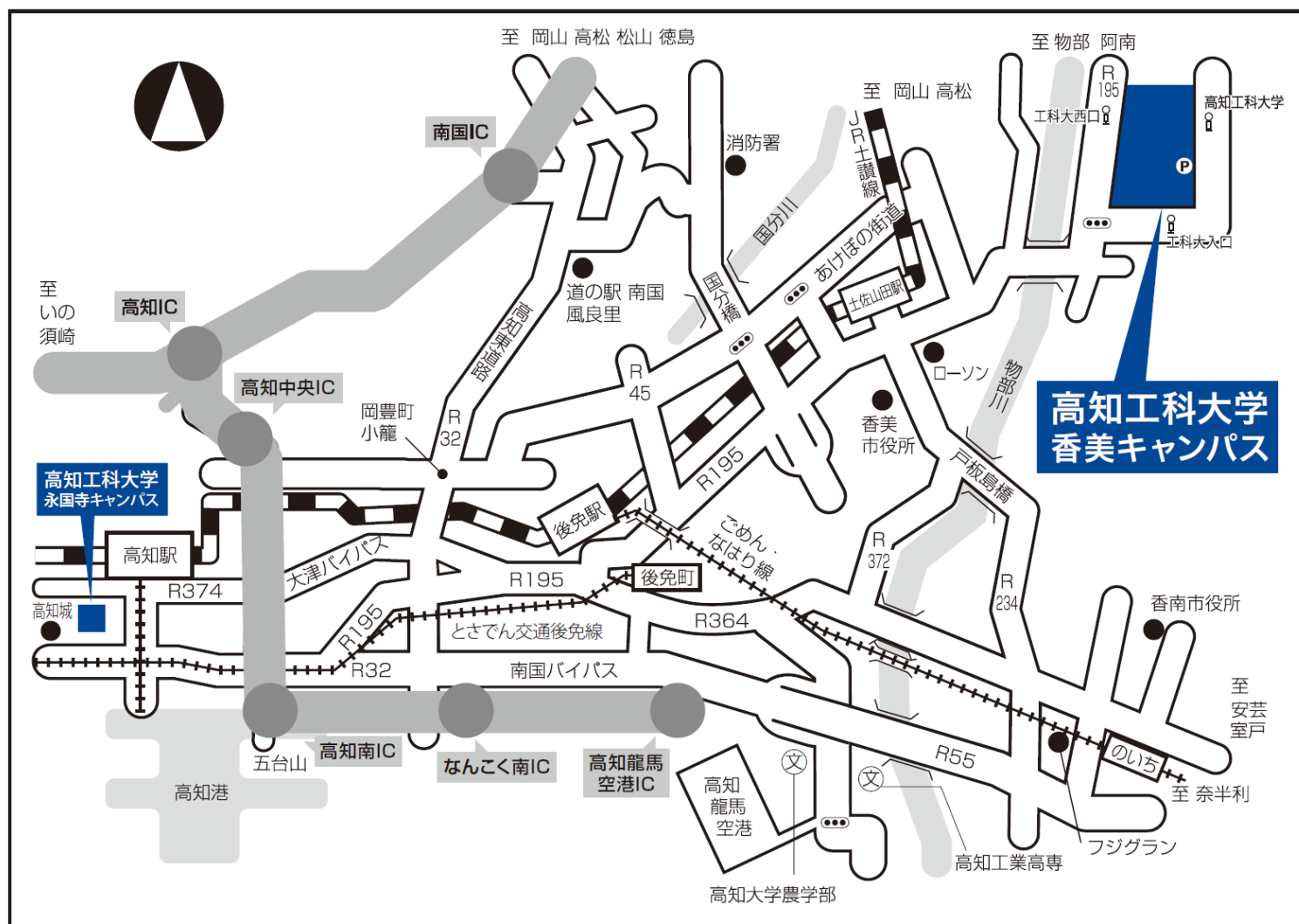
「学生の個人情報の取扱いについて」

https://www.kochi-tech.ac.jp/disclosure/univ/post_10.html



●試験会場略図

高知工科大学 香美キャンパス



高知県香美市土佐山田町宮ノ口185

- ▶ JR土讃線「土佐山田」駅下車、バスに乗り換えて
 - ・ とさでん交通バス「山田駅～龍河洞」線で約10分「工科大入口」もしくは「高知工科大学」下車
 - ・ JR四国バス「美良布」行で約10分「工科大西口」下車
(JR「高知」駅から「土佐山田」駅までは、特急で約12分、普通で約30分)
- ▶ 高知自動車道南国ICから車で約20分
- ▶ 高知龍馬空港から車で約25分

高知県公立大学法人 高知工科大学 入試課

Tel : 0887-57-2222